全苗連だより

Ｖｏｌ．１５８（１０月号）
令和８年１０月１４日
発行：全国山林種苗協同組合連合会
Tel.03-3262-3071 Fax.03-3262-3074

第１０回 全 苗 連 生 産 者 の 集 い

秋田で盛大に開催されました

『第１０回 全苗連生産者の集い』が９月３日(木)から４日(金)の二日間､秋田県秋田市をメイン会場にして盛大に開催されました。 開催に当たり、ご尽力いただいた皆様に感謝申し上げ、その内容を次のとおり報告いたします。

【生産者の集い】 （初日の９月３日開催）秋田市にある「あきた芸術劇場ミルハス（大ホール）」（秋田県秋田市千秋明徳町２－５２）に５７１名

(写真) 田村政則全苗連生産者の集い実行委員長の開会の挨拶

が集いました。田村政則第１０回全苗連生産者の集い実行委員長が開会のことばを述べ、主催者を代表して井内優全苗連会長代表理事による挨拶、鈴木健太秋田県知事並びに沼谷純秋田市長の歓迎の挨拶に続き、ご来賓を代表して長崎屋圭太林野庁長官(新幹線の遅延により挨拶順が変更)並びに中崎和久全国森林組合連合会代表理事会長から祝辞を受けました。

(写真) 長崎屋圭太長官の祝辞

続いて、全国山林苗畑品評会・山林種苗等生産事業功労者・永年勤続常勤役職員・特別感謝状の表彰が行われ、４２名の方が表彰されました（表彰者名は[別添 1]参照)。受賞者を代表して、全国山林苗畑品評会で農林水産大臣賞を受賞された岩手県の大森茂男氏が謝辞を述べました。

(写真) 会場の様子(あきた芸術劇場ミルハス（大ホール）

表彰式のあとは、秋田県取組状況報告及び記念講演並びに生産者による状況報告が行われました。

(写真)井内優全苗連会長主催者挨拶

(写真)中崎和久全国森林組合連合会代表理事会長の祝辞

はじめに秋田県農林水産部森林技監の永井壯茂氏より、「秋田県の森林・林業・木材産業の取組状況について 」と題しての状況報告をいただきました。続いて東北森林管理局長の箕輪富男氏より、「秋田スギ温故知新～森と木の国・秋田から～」の記念講演があり、生産状況報告では、一般財団法人地域森林整備集団「杉っ子ナースリーAKITA」理事長の伊藤直史氏より発表がありました。

次に、全国の苗木生産者が一堂に会したことを一層有意義なものとし、関係方面に広くアピールしていくために、生産者の集いの決議文を採択することになり、秋田県山林種苗協同組合副理事長の小松佳央氏より発表され、満場一致で採択されました。([別添２])

(写真)講演の様子

続いて、次期開催地の関東地区協議会への引き継ぎが行われ、全苗連旗が田村全苗連生産者の集い実行委員長から協議会を代表して神戸直日長野県山林種苗協同組合理事長へ手渡されました。

最後に、全苗連竹内一秋副会長より閉会のことばがあり、第１０回全苗連生産者の集いは盛会裏に終了しました。 また、同日午後６時からは、沢山のご来賓にも出席していただき、「ANA クラウンプラザホテル秋田」 において情報交換会が開催されました。そして、NAMAHAGE 郷神楽(さとかぐら)の皆さんによる勇猛な「なまはげ太鼓」のアトラクションが花を添えました。なお、このグループはヨーロッパやアメリカ、アジアなど世界を舞台に活躍していますが、グループを立ち上げた和太鼓奏者の小林義隆さんは、このたび特別感謝状を贈呈いたしました故小林富義さんのご子息とのことでした。

【全苗連生産者の集い・視察旅行】 翌日は、苗畑視察と併せて男鹿・田沢湖・角館・鹿角方面等の３コース（うち１コースは１泊２日）に分かれて視察旅行が

実施され、秋田県への理解が一層深まる一日となりました。

（写真）視察旅行の様子

[別添 1]　　注１；順不同

☆令和７年度　全国山林苗畑品評会表彰☆

農林水産大臣賞

北海道	株式会社サトウ
岩手	大森　茂男
和歌山	株式会社井内屋種苗園
愛媛	長井　浩二
宮崎	森田　文雄
鹿児島	砂田　博文

林野庁長官賞

北海道	有限会社リョクハン
岩手	菅野　弘之
秋田	株式会社黒沢苗畑事業所
福島	有限会社加藤樹苗園
茨城	飯塚　聖二
茨城	大森　義之
栃木	野口　敏広
神奈川	町田　憲司
長野	浦野　馨
滋賀	宮城　定右衞門
鳥取	森下　真一
岡山	野澤　正人
岡山	小林　亮太

高知　　公文　貴之
佐賀　　織田　繁実
佐賀　　山口　貞義
熊本　　舛永　武己
宮崎　　福田　隆志

全苗連会長賞

秋田　　エーピーフォーレ株式会社
栃木　　石川　政道
群馬　　松下　好
長野　　平沢　和正
広島　　増原　達也
福岡　　熊本　智

☆令和８年度　山林種苗等生産事業功労者表彰☆

全苗連会長賞

北海道　　斉藤　知幸
宮城　　千葉　勇作
秋田　　松橋　誠
福島　　上田　浩明
栃木　　石原　久男
群馬　　吉田　秀太郎
長野　　上条　祐一郎
広島　　吉岡　隆幸
佐賀　　江口　登司
熊本　　園田　久

☆令和８年度　永年勤続常勤役職員表彰(全苗連会長賞)☆

北海道　　眞鳥　菜子

☆令和８年度　特別感謝状

秋田　　故 小林　富義

[別添 2]

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊ 全苗連生産者の集い決議 ＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

第１０回全苗連生産者の集い決議文

林業には、国民から多くの期待と要請が寄せられている。一つは伐採後の植林を確実に行うこと。もう一つは花粉症対策に取り組むことである。

また、近年、全国的な自然災害が頻発しており、中山間部の防災の観点からも造林事業の重要性は高まっている。

全苗連の苗木生産者は、これらの国民からの負託に応えるために全力で取り組むこととしている。

しかしながら、我々を取り巻く状況は物価高やエネルギー価格の高騰が続く中、苗木生産コストの更なる上昇が危惧され、加えて、人手不足などの懸念材料が山積している。

このような状況下で、我々生産者は、これまでの経験・実績・技術に基づき、品質を保証した優れた苗木の安定供給に大きな使命を担っているところである。

断固たる決意と強い責任感をもって、百年続く「森の国・木の街」を創り上げるため、我々、全苗連の苗木生産者は、本日ここに次の事項の実現について強く要望する。

一　主伐の増加に対応する確実な再造林に必要な森林整備予算及び苗木生産予算の確保

一　後継者育成並びに外国人材の円滑な雇用推進の支援

一　苗木生産の元となる特定苗木並びに花粉の少ない苗木の種子・穂木の安定供給体制の確立

一　苗木需給量の見通しの提供並びに苗木の予約生産・販売流通体制の構築

一　コンテナ苗生産に適した品種や優良品種の開発

一　苗木生産の省力化及び効率化に資する機械化等の推進の支援

一　調和のとれた苗木生産者組織の育成強化

以上、決議する。

令和８年９月３日

全国山林種苗協同組合連合会

全苗連・苗組の行事予定

10 月 29 日	全苗連・林野庁整備課業務打合せ(全苗連事務室)
11 月5～6 日	中国地区林業用種苗需給連絡協議会(鳥取県米子コンベンションセンター)
11 月8日	全国育樹祭(和歌山県)
11 月 10 日	全国林業経営推奨行事賞状伝達贈呈式(イイノホール)
11 月 11 日	人事院主催「令和８年度国家公務員倫理規程セミナー」web
11月 17～18 日	北海道・東北地区林業用種苗需給連絡協議会(新潟県)
11月 19～20 日	九州地区林業用種苗需給連絡協議会(熊本県)
11月23日	農林水産祭(明治神宮会館)
11 月 26～27 日	東海・北陸地区林業用種苗及び緑化木需給連絡協議会(静岡県)
11 月 30～12 月 1 日	関東地区林業用種苗需給連絡協議会(茨城県)
12 月 3～4 日	近畿地区林業用種苗需給連絡協議会(京都府)
12 月 9～10 日	四国地区林業用種苗需給連絡協議会(愛媛県)